

- 問1 アジアに位置する広大な国であるインドが、近年「BRICS」の一員として世界的に注目されている理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 東南アジア諸国連合 (ASEAN) のリーダーとして、域内の自由貿易を主導し経済圏を拡大させているため。
 2. 国土は非常に狭いものの、中継貿易と高度な金融サービスによって、アジアで最も高い所得水準を実現したため。
 3. 広大な国土と膨大な人口を背景に、豊富な資源や労働力を活かして急速な経済成長を遂げているため。
 4. 1970年代から「漢江の奇跡」と呼ばれる急速な工業化を成し遂げ、いち早く先進国の仲間入りを果たしたため。
- 問2 1980年代から輸出額が急増し、その内訳のほとんどが工業製品で占められるようになったシンガポールにおいて、短期間で急速な経済成長と工業化を実現するためにとられた国家戦略として最も適切なものはどれですか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
1. 国内の重要企業をすべて国営化し、政府の管理下で重化学工業を発展させる政策
 2. 伝統的な農産物の生産を大規模化し、一次産品の輸出を国家経済の柱とする政策
 3. 高い関税をかけて外国製品の流入を制限し、国内企業の保護と育成を最優先する政策
 4. 海外の企業を積極的に誘致し、工業製品の製造と輸出を拡大させる政策
- 問3 アジア州の宗教分布を示した統計において、インドに集中しているヒンドゥー教とは対照的に、西アジア、中央アジア、さらには東南アジアの島しょ部であるインドネシアまで、複数の国や地域にまたがって広く分布している宗教はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 仏教
 2. イスラム教
 3. キリスト教
 4. ユダヤ教
- 問4 タイやバキスタンなどのアジア諸国で主食作物である米の生産が盛んに行われている理由として、自然環境の面から正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 年間を通して冷涼で、寒冷地での栽培に適しているため。
 2. 年間を通して降水量が少なく、乾燥した気候であるため。
 3. 降水量が多く、温暖な気候環境に恵まれているため。
 4. 昼夜の寒暖差が極めて大きく、水が乏しい土地であるため。
- 問5 東南アジア諸国の宗教分布に関する記述として、各国の統計的な特徴と背景を正しく説明しているものはどれか、次の中から選びなさい。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. フィリピンでは、中近東との交易によってイスラム教が広まったため、イスラム教信者が人口の約9割を占めている。
 2. 大陸部に位置するカンボジアでは、古くからの伝統を受け継ぎ、仏教信者が人口の9割以上を占めている。
 3. マレーシアでは、インド文化の流入により、ヒンドゥー教を信仰する人々が人口の約6割を占めている。
 4. マレーシアでは、かつてスペインの植民地であったことから、キリスト教信者が人口の約6割を占めている。
- 問6 1970年には約8億人であった人口が、2015年には約14億人まで急増した中国において、人口爆発を抑制するために1979年から実施された人口抑制策の名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 産めよ増やせよ政策
 2. 一人っ子政策
 3. 人口集中緩和政策
 4. 二人っ子政策
- 問7 2000年には128社であったベトナム進出の日系製造業の企業数は、2012年には373社へと急増しています。このように、日本の製造業がベトナムへの進出を拡大させている主な理由として、労働力の面から説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. ベトナムの労働者は日本を上回る高度な技術力を有しており、日本国内では不可能な高精密な製品の製造ができるから。
 2. ベトナムは石油や石炭などの鉱産資源が極めて豊富であり、原材料の調達コストが日本国内よりも安く済むから。
 3. ベトナムの製造業作業員の平均月収は、日本を100とした指数で見ると5を下回るほど低く、生産コストを大幅に抑制できるから。
 4. ベトナムは周辺諸国に比べて人口が圧倒的に多く、自社製品を販売するための巨大な消費市場として成熟しているから。
- 問8 1960年に、イラク、イラン、サウジアラビアなどの産油国によって設立された、国際市場における石油価格の安定や産油国の利益を守ることを目的とした組織の名称として正しいものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 石油輸出国会議 (OPEC)
 2. アジア太平洋経済協力 (APEC)
 3. 石油輸出国機構 (OPEC)
 4. 経済協力開発機構 (OECD)
- 問9 「緑の革命」とも呼ばれる、1960年代以降の開発途上国における食料増産政策について、その具体的な手法の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 伝統農法の継承と有機肥料の普及
 2. 穀物の品種改良と化学肥料の使用
 3. 温室栽培の導入とバイオ燃料の生産
 4. 焼畑農業の拡大と森林伐採の推進
- 問10 インドネシア、タイ、ベトナムなどの東南アジア諸国が加盟し、地域の経済成長や平和、文化的な発展を目的として1967年に設立された地域協力組織の名称を何といいますか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. NAFTA (北米自由貿易協定)
 2. ASEAN (東南アジア諸国連合)
 3. EU (欧州連合)
 4. APEC (アジア太平洋経済協力会議)
- 問11 西アジア・オセアニア地域のいくつかの国について、一人あたりの国内総生産 (GDP) と主な輸出品目を比較した調査において、サウジアラビアの特徴を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 一人あたりの国内総生産が約4万ドルに近く、バターやチーズなどの酪農品が輸出の第1位である。
 2. 一人あたりの国内総生産が比較的高く、原油や石油製品が輸出額の大部分を占めている。
 3. 一人あたりの国内総生産は約3,000ドル台で、石炭やバーム油が主な輸出品となっている。
 4. 広大な土地を利用した鉱業が盛んで、主な輸出品は鉄鉱石や石炭、羊毛である。
- 問12 主要な穀物の生産と貿易に関する統計において、小麦の生産上位5か国 (中国、インド、ロシア、アメリカ、カナダ) と、米の生産上位5か国 (中国、インド、インドネシア、バングラデシュ、ベトナム) を比較した際、米の統計にのみ見られる顕著な特徴として正しいものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 生産量上位の国は、気候変動による凶作に備えるため、生産量の半分以上を必ず他国からの輸入で賄う仕組みを整えている。
 2. 生産量上位の国は、すべてアジア以外の州に位置しており、生産した穀物の大半をアジア諸国へ輸出する傾向がある。
 3. 生産量で世界の上位に入る国であっても、国内の人口が多く消費量も膨大であるため、輸入量でも世界の上位に含まれる場合がある。
 4. 生産量の上位5か国はすべて、自国の食料自給率を100%にするために、生産した全量を国内消費に回し、輸出を一切行っていない。
- 問13 東南アジアに位置するある国は、第1次産業の就業人口割合が約34%と高く、農業や鉱業が国の経済において重要な役割を果たしています。また、資源面では石炭の産出量が年間4億トンを超え、その大部分を海外へ輸出しているという特徴を持つ国はどこですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. ブラジル
 2. 南アフリカ
 3. インドネシア
 4. オーストラリア